小学校出前講座　実施報告と今後の課題

深谷 紗千

はじめに

碧南市藤井達吉現代美術館では2008年4月の開館以来、講演会、ワークショップなど、様々な教育普及活動を実施してきた。近年様々な美術館・博物館で盛んに教育普及活動が行われているが、中でも学校との連携は多くが取り組んでいる活動の一つであろう。学校との連携活動としては主に、美術館での鑑賞見学の受け入れ[1]や、美術館の教育普及担当者が学校へ出向いて授業を行う出前講座[2]の実施などが挙げられる。

当館では、開館1年目から美術館学習、3年目からは造形の出前講座を継続して実施してきた。ここでは当館が市内小学校に対して実施してきた造形の出前講座に関する報告と今後の課題について述べていく。

1．実施に至る経緯

当館が開館して3年目の2010年度に、碧南市立棚尾小学校から初めて出前講座の依頼があった。棚尾小学校は、当館の館名にもなっている、美術工芸家・藤井達吉の出身校である。藤井達吉は愛知県碧海郡棚尾村（現・碧南市）に生まれ、日本近代工芸の先駆者として知られ、工芸や、日本画、図案など幅広い創作活動をした芸術家である。棚尾小学校は、児童らが藤井達吉の創作活動に触れ、少しでも親しんでほしいという思いから、造形の出前講座を希望した。

当時、当館には教育普及の担当者がおらず、市内小学校に対して造形の出前講座を実施したことはなかった。しかし、地域や学校との連携を美術館活動の重要な使命の一つと捉え、積極的に引き受けるべきだと考えた。当館では2009年9月より小学生を対象に造形表現などを体験できる「子どもワークショップ」を毎月開催していた。そのプログラムの一部を筆者が担当していたこともあり、出前講座についても筆者が担当することとなった。この年は棚尾小学校から3学年の依頼を引き受け、手探りの状態ではあったが、実施に向けて学校の先生方と打合せを重ね、準備を進めていった。

出前講座を実施するにあたり、美術館として学校とどのように連携していけばよいのか（例えば、どんなことをすればよいのか、小学生の発達段階がどれほどのもので、美術への関心はいかほどのものなのか、など）といった課題について考えたものの、この年度はそれらが曖昧なままに事業を進めてしまった。翌年の2011年度からは、元学校教員が当館に再任用されたこともあり、学校と美術館との連携により力を注ぐことが可能になった。筆者は元学校教員と共に出前講座を実施していく中で、学校の組織や時間割り（小学校の場合、1時限が45分）、児童の学年による発達段階の違いなどに、少しずつではあるが慣れていった。

2011年度は前年度依頼のあった棚尾小学校に加え、市内の大浜小学校にも美術館側から呼びかけ、出前講座を実施することとなった。2012年度以降は、出前講座での活動が徐々に学校の先生方に広まり、年々依頼をしてくださる学校が増えていった。そして2017年度には碧南市内の全ての小学校より依頼を受け（全7校）、応募多数で実施学年を絞っていただく学校も出てきた。

2010年度～ 2018年度の造形の出前講座の実施内容や打合せ内容は以下の通りである。

2010（平成22）年度

出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備考
棚尾小	7月8日	6年全3クラス	106	「継紙技法を使った扇面デザイン」継紙技法を使った背景の制作と、吹きつけ、ぼかしの技法を使った扇面の制作をした。	授業　各クラス2時間指導
	7月16日	6年全3クラス	106	「継紙技法を使った扇面デザイン」続き 扇面の仕上げ作業と構成をし、完成させた。	〃
	9月8日	1年全3クラス	109	「アートでびょうぶ」ペインティングナイフで自由に画面を作った。	〃
	9月15日	1年全3クラス	109	「アートでびょうぶ」前回制作した画面を屏風のように仕立て、周りを飾り完成させた。	〃
	9月29日	5年全3クラス	107	「たらしこみ技法で表現」墨のにじみやぼかしを生かした表現に挑戦した。	〃
	10月6日	5年全3クラス	107	ダンボール板に2,3枠をくり抜き、前回の墨の表現を下に貼り、完成させた。	〃
	2月4日 2月9日 2月18日	5年全3クラス	107	自分の名前の一文字を色紙にデザインして切り抜き、たらしこみ技法で表現した画用紙に貼り合わせた。	〃
合計	延べ9日	延べ21学級	751人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
棚尾小	6月16日	1･6年	1	出前授業依頼
	6月18日	6年	4	内容検討
	6月24日	6年	1	〃
	7月6日	6年	1	〃
	7月8日	6年	1	〃
	7月16日	6年	1	〃
	7月22日	1･6年	1	1年生授業内容検討、 6年生仕上げ作業
	7月23日	6年	1	仕上げ作業
	8月6日	1･6年	1	内容検討
	8月12日	1年	1	〃
	8月13日	6年	1	作品選別
	8月18日	6年	1	ネーム制作
	9月9日	1･5年	1	1年生授業内容検討、 5年生授業依頼
	9月15日	5年	1	内容検討
	10月6日	1年	1	〃
	10月13日	1年	3	仕上げ作業
	10月19日	1年	1	内容検討
	10月28日	1年	1	作品選定、内容検討
	11月2日	1年	1	内容検討
	11月10日	1年	1	研究授業準備
	11月11日	1年	1	〃
	11月16日	1年	1	〃
	11月17日	1年	1	〃
	1月18日	5年	1	内容検討
	計24回			

棚尾小1年

棚尾小5年

2011（平成23）年度
出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備考
棚尾小	7月6日	4年1クラス	37	「小原和紙作り体験」講師：竹田美栄子先生（他2名）　和紙作り体験の補助	補助
大浜小	9月22日	1年全4クラス	127	「シャボン玉絵画」絵の具を混ぜたシャボン液を画面に吹き付け、下地を作成した。	授業　各クラス2時間指導
	9月27日				
	9月29日				
	10月5日	1年全4クラス	127	「シャボン玉絵画」前回できた文様から形を想像し、作品に仕上げた。	授業　各クラス1時間指導
	10月6日	特別支援学級	7	ペインティングナイフで自由に絵の具の表現を楽しんだ。	授業　2時間指導
	10月7日	2年全4クラス	112	「型作りとローラー表現」「生き物と遊ぼう」をテーマに画用紙で型を作り、その上からローラーを転がして表現した。	授業　各クラス2時間指導
	10月12日				
	10月13日	2年全4クラス	112	「型作りとローラー表現」前回の作品の上からクレヨンで描いた。	〃
	10月14日				
	10月26日	特別支援学級	8	ダンボールの枠を作り、作品に仕上げた。	授業　2時間指導
	10月27日	2年全4クラス	112	「型作りとローラー表現」前回の作品の上からクレヨンで描き、作品に仕上げた。	授業　各クラス1時間指導
合計	延べ12日	延べ23学級	642人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
棚尾小	6月9日	4年	1	出前授業依頼
	7月7日	4年	4	内容検討
	7月19日	4年	4	〃
	8月1日	4年	4	糸通し作業
	8月2日	4年	4	結びつけ作業
	8月10日	4年	4	展示作業
大浜小	8月18日	1年	4	内容検討
棚尾小	8月19日	4年	4	作品展示
	8月30日	2年	4	内容検討
	計9回			

大浜小2年

2012（平成24）年度
出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備　考
棚尾小	7月3日	1年全3クラス、特別支援学級	89	「大島風物図屏風」鑑賞後、画用紙で牛を手作りした。	授業　各学年3時間指導
	7月10日	1年全3クラス、特別支援学級	89	模様を貼り、牛を完成させた。	
日進小	9月11日	6年全2クラス	61	「水墨画で描く自画像」制作のための墨絵の基本技法を紹介した。	授業　各クラス2時間指導
大浜小	9月12日	2年全4クラス	129	「パステルぼかしあそび」音楽を聴き、そのイメージにあわせてパステルで描いた。	〃
	9月13日				
日進小	9月14日	4年全2クラス	63	「おもしろ百面相」フェルトペンで下図制作をした。	〃
大浜小	9月19日	1年全3クラス	104	「カップや空箱で作る顔」紐やカップで顔の制作した。	〃
	9月21日				
日進小	9月20日	3年全2クラス	67	「遊具で遊ぶ」デジカメのプリントを参考に遊具で遊ぶ自分の姿の下図を描いた。	〃
新川小	9月25日	2年全5クラス	148	「水たまりにうつった友だち」鏡を使って逆さにうつる友達を描いた。	〃
	9月26日				
	9月27日				
日進小	9月28日	4年全2クラス	63	「おもしろ百面相」水彩絵の具で彩色した。	〃
新川小	10月3日	3年全4クラス	137	「ジャックと豆の木」クレヨンで動きのある人物と豆の木を描いた。	〃
	10月4日				
	10月5日	特別支援学級	5	「小枝に巻き巻き」枝を組み立て、糸や布を巻いた。	授業　2時間指導
日進小	10月10日	特別支援学級	9	「ビー玉で遊ぶ」箱の中に絵の具をたらし、ビー玉を転がして描いた。	〃
大浜小	10月11日	特別支援学級	11	「ローラーころころ」板の上に型紙を置きローラーで彩色した。	〃
新川小	10月12日	3年全4クラス	137	「ジャックと豆の木」水彩絵の具で彩色し、仕上げた。	授業　各クラス2時間指導
	10月17日				
合計	延べ20日	延べ39学級	1112人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
棚尾小	6月14日	1年、特別支援学級	2	内容検討
	6月22日	1年、特別支援学級	2	〃
新川小	6月26日	特別支援学級	3	〃
棚尾小	7月18日	特別支援学級	2	〃
新川小	7月27日	2年	4	〃
大浜小	7月31日	2年	4	〃
棚尾小	7月31日	1年、特別支援学級	2	〃
新川小	8月3日	3年	4	〃
日進小	8月7日	6年	1	〃
大浜小	8月18日	1年	4	〃
	8月24日	特別支援学級	2	〃
日進小	8月24日	3･4年	5	〃
大浜小	8月24日	1年	3	〃
	8月30日	2年	4	〃
新川小	9月4日	3年	4	〃
日進小	9月11日	特別支援学級	1	〃
新川小	9月20日	2年	5	〃
	計17回			

大浜小2年

棚尾小1年

2013（平成25）年度
出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備考
日進小	6月19日	3年全2クラス	53	「わたしとぼくと公園」遊具や水で遊んだことを思い出しながら下図を描き、水彩で彩色した。	授業　各クラス 6時間指導
	6月26日	〃	53		
	7月3日	〃	53		
大浜小	9月17日	1年全4クラス	108	「おしゃれなクジャックス」鳥の羽の模様を絵の具遊びをしながら制作した。	授業　各クラス 2時間指導
	9月19日				
	9月26日	2年全3クラス	106	「大きいおいもがとれたよ」サツマイモの実と葉をクレヨンと水彩絵の具で表現した。	〃
	9月27日				
新川小	10月2日	2年全4クラス	140	「きこえてくるよ　楽しいメロディー」ピアニカをふく手、顔の描写をした。	〃
	10月4日				
	10月9日	3年全4クラス	148	「虫めがねでのぞいてみたよ」虫眼鏡で拡大した野菜を細密に描いた。	〃
	10月10日				
西端小	10月8日	6年全4クラス	114	「靴墨」墨の濃淡を生かして描くための墨絵の技法紹介と、下書きをした。	〃
	10月11日				
	10月16日				
大浜小	10月22日	特別支援学級	12	「ぼくもわたしもアーティスト」着色できる粘土を使い板絵を制作した。	授業　2時間指導
日進小	10月23日	特別支援学級	9	「ローラーでゴーゴー」型紙やテープの上をローラーで彩色した。	〃
合計	延べ16日	延べ27学級	796人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
日進小	5月8日	3年	2	内容検討
	5月29日	〃	2	〃
西端小	6月5日	3年	1	出前講座について
新川小	6月5日	3年	2	〃
日進小	6月13日	3年	2	内容検討
西端小	6月18日	3･6年	4	〃
大浜小	6月18日	1･2年、特別支援学級	9	〃
新川小	6月18日	2･3年	7	〃
日進小	6月27日	3年	2	〃
大浜小	7月23日	2年	3	〃
新川小	7月25日	2年	4	〃
	7月25日	3年	4	〃
西端小	7月30日	3年	1	〃
大浜小	7月31日	特別支援学級	2	〃
	8月8日	1年	4	〃
西端小	8月9日	6年	2	〃
大浜小	8月21日	2年	3	〃
日進小	8月21日	特別支援学級	2	〃
新川小	8月23日	2年	4	〃
日進小	8月28日	5年	2	〃
大浜小	9月3日	1年	4	〃
新川小	9月4日	2･3年	8	〃
西端小	9月10日	6年	2	〃
新川小	9月10日	3年	4	〃
	11月7日	2･3年	8	作品の評価について
	計25回			

新川小3年

大浜小1年

2014（平成26）年度
出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備　考
日進小	7月4日	4年全2クラス	53	「ハスの葉っぱで遊んだよ」型紙とクレパスを使いハスの葉の表現をし、画面構成した。	授業　各クラス 2時間指導
	7月7日	3年全2クラス	73	「はらぺこ青虫が素敵な蝶になったよ」４種類の絵の具の表現技法を紹介した。	〃
	7月15日	1年全2クラス	62	「あさがおの花が咲いた」つるの描画し花と葉を画面構成し糊付けした。	〃
新川小	9月10日	1年全4クラス	121	「ふしぎなカラフルたまご」卵形の画用紙にクレパスを使い線や模様をカラフルに描いた。	〃
	9月12日				
大浜小	9月17日	2年全3クラス	105	「引っかき絵」画面を多色のクレパスで塗りつぶし、その上からアクリル絵の具を塗り引っかき絵の素材作りをした。	〃
	9月18日				
新川小	10月3日	6年全4クラス	139	物語の絵「銀河鉄道の夜」構図の指導をした。	〃
	10月8日				
	10月9日				
	10月9日	2年1クラス	28	「不思議な動物」アルミ線による骨組み作りと紙粘土による形作りをした。	授業　3時間指導
大浜小	10月10日	3年全3クラス	106	「はんで広げた夢」版画の刷りを行った。	授業 2時間指導
新川小	10月15日	2年4クラス	122	「不思議な動物」アルミ線による骨組み作りと紙粘土による形作りをした。	授業　各クラス 3時間指導
	10月16日				
日進小	10月29日	特別支援学級	10	共同画「大きな絵、海」を描いた。	授業　2時間指導
棚尾小	3月10日	2年全4クラス	113	和紙で作るランプシェードの飾り和紙の張り合わせをした。	授業　各クラス 2時間指導
	3月12日				
合計	延べ16日	延べ30学級	932人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
棚尾小	5月22日	5年	2	内容検討
日進小	6月13日	1･3･4年	6	〃
	6月26日	1･3･4年	6	〃
新川小	7月15日	1･2･6年	13	〃
大浜小	7月24日	2･3年	5	〃
日進小	8月6日	特別支援学級	3	〃
新川小	8月22日	6年	4	〃
	9月2日	1･2年	8	〃
	9月27日	6年	1	〃
棚尾小	2月27日	2年	4	〃
	計10回			

※記録が不明確なため、必ずしもこの通りではない。

新川小1年

日進小4年

2015（平成27）年度
出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備考
中央小	6月23日	6年全3クラス	82	木版画の授業に関連した「版画」の鑑賞授業。版画の技法の紹介とその作品をパネルで鑑賞。版木や銅版等実物の見学。	授業　各クラス1時間指導
日進小	6月26日	1年全2クラス	49	「おもしろい顔」ダンボールにカップ、毛糸等の廃材を組み合わせて貼り、ゆかいな顔を制作した。	授業　各クラス2時間指導
大浜小	7月2日	3年全3クラス	106	「泳いだよ」プールで泳ぐ人物を描き、バックをたらし込みの技法で仕上げた。	〃
	7月3日				
鷲塚小	7月7日	3年全4クラス	131	「ちぎってはってハイ、ポーズ！」にらめっこをした時の面白い顔を描き、折り紙などを貼り付け、顔の表情を表現した。	〃
	7月9日				
日進小	7月8日	4年全2クラス	73	「私の大変身！」自分の写真コピーの上に木切れを貼り、なりたい自分に変身させた。	〃
中央小	7月15日	特別支援学級	6	「切って貼ってローラーコロコロ」ダンボール板に画用紙で作った型を置き、ローラーにで彩色した。	授業　2時間指導
大浜小	9月8日	特別支援学級	13	「不思議な生き物たち」アルミの針金を芯にして動物の形を作り、そこに着色した紙粘土を団子にして貼り付けた。	〃
新川小	9月11日	4年全2クラス	70	「顔の流れにそってシュッシュ」木版画で顔の下書きの彫る部分と彫らない部分を下図に描き分けた。	授業　各クラス2時間指導
日進小	9月15日	5年全2クラス	53	「がんばる自分」水彩画の下描きをした。	〃
新川小	9月16日	4年全2クラス	71	「顔の流れにそってシュッシュ」木版画で顔の下書きの彫る部分と彫らない部分を下図に描き分けた。	〃
	9月17日	2年全4クラス	122	「ぼくのわたしの友だち」自分の顔をクレヨンで線描きした。	〃
	9月18日				
	9月25日	6年全4クラス	144	「うきうき浮世絵」浮世絵に描かれた人物と、和のイメージをモチーフにして絵を描いた。	〃
	9月29日				
棚尾小	10月1日	5年全3クラス	117	「はい、ポーズ」切り絵の作品を作るための下図制作をした。	〃
	10月6日				
		6年全3クラス	105	「画家になりきろう」名画の画風で自画像を描くための下描きをした。	授業　2時間指導
中央小	10月8日	1年1クラス	32	「せかいにひとつだけのおめん」着色した粘土で不思議な仮面を制作した。	授業　3時間指導
棚尾小	10月9日	6年全3クラス	105	「画家になりきろう」名画の画風で自画像を描いた。	授業　2時間指導
日進小	10月14日	特別支援学級	10	「毛糸と釘のカラフルアート」釘を打った木材に毛糸をひっかけ、作品にした。	〃
西端小	10月15日	5年全3クラス	93	「楽しい世界」アルミホイルで人物を制作した。	授業　各クラス2時間指導
	10月16日				
中央小	10月20日	1年2クラス	67	「せかいにひとつだけのおめん」着色した粘土で不思議な仮面を制作した。	授業　各クラス3時間指導
	10月21日				
大浜小	10月29日	特別支援学級	6	ダンボールを使った鬼のお面を制作した。	授業　2時間指導

学校	月日	学年	人数	内容	備考
大浜幼稚園	12月8日	年少親子	50	「クリスマスリース」ダンボールのリース型に紙テープやクリスマスモチーフの型等を貼りクリスマスリースを制作した。	親子行事
	12月9日	年長親子	70	「キラキラ絵」表面に黒いアクリル絵の具を塗った画面に絵を描いた後ひっかき、ペンで色をつけて完成させた。	〃
	12月10日	年中親子	50	「ミニタイルツリー」軽量粘土の上にミニタイルをツリーの形に貼り、周りをシールやスパンコール等で飾り完成させた。	〃
合計	延べ29日	延べ50学級	1625人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
鷲塚小	5月8日	特別支援学級	1	出前授業について
日進小	6月2日	1・4・5年、特別支援学級	8	〃
大浜小	6月3日	3年、特別支援学級	6	〃
中央小	6月5日	1・6年、特別支援学級	8	〃
日進小	6月5日	1年	2	見本渡し
鷲塚小	6月10日	3年	4	〃
日進小	6月10日	4年	2	〃
新川小	6月12日	2・4・6年	14	〃
大浜小	6月23日	3年	4	内容検討
西端小	6月24日	5年	2	出前授業について
棚尾小	7月10日	5・6年	4	〃
西端小	7月23日	5年	2	内容検討
新川小	7月24日	2年	4	〃
棚尾小	7月24日	5年	3	〃
日進小	7月24日	特別支援学級	2	〃
鷲塚小	7月24日	特別支援学級	1	〃
新川小	7月28日	6年	5	〃
鷲塚小	7月28日	2年	1	内容検討(相談のみ)
大浜小	7月31日	1年	3	〃
棚尾小	7月31日	6年	4	内容検討
新川小	8月5日	4年	4	〃
日進小	8月5日	5年	2	〃
中央小	8月19日	1年	3	〃
大浜小	8月20日	特別支援学級	2	〃
中央小	8月20日	特別支援学級	1	作品の仕上げについて
棚尾小	8月27日	5年	1	出前授業について
新川小	9月2日	2・4・6年	11	見本渡し
日進小	9月4日	5年、特別支援学級	4	〃
大浜幼稚園	9月30日	園長、PTA	3	出前授業について
	10月30日	園長、PTA	3	見本渡し
	12月2日	園長、PTA	5	作品材料渡し
	計31回			

大浜小3年

中央小6年

2016（平成28）年度
出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備考
日進小	6月15日	1年全2クラス	49	四つ切画用紙に黒のクレヨンで蝶を描く。	授業　各クラス 2時間指導
	6月18日	3年全2クラス	63	「海の中で遊ぶぼく、わたし」海の中で遊ぶ自分と友だちの姿と、主役になる魚をクレヨンで描く描き方の指導。	〃
新川小	6月21日	6年3クラス	114	「私のお気に入りの場所」自分のお気に入りの場所を四つ切画用紙に描く前段階の下図の指導。A3用紙に構図やバランスを考えて配置する。	〃
	6月22日	4年2クラス	73	「スクラッチアート」白ボールに色々な色のクレヨンを全体に塗り、その上に黒のアクリルガッシュを塗る指導。	〃
		6年1クラス	38	「私のお気に入りの場所」自分のお気に入りの場所を四つ切画用紙に描く前段階の下図の指導。A3用紙に構図やバランスを考えて配置する。	
日進小	6月23日 6月24日	6年全2クラス	52	「ランドセルから広がる未来」四つ切画用紙にたらしこみかグラデーションで表現するための技術指導	〃
新川小	6月29日	4年2クラス	73	「スクラッチアート」白ボールに色々な色のクレヨンを全体に塗り、その上に黒のアクリルガッシュを塗る指導。	〃
	7月1日 7月5日 7月6日	2年全5クラス	145	「絵の具のカサカサとぺたぺた表現」絵の具の筆でカサカサ表現と指でぺたぺた表現をそれぞれ赤系・青系の2枚ずつ制作した。	〃
西端小	7月13日	1年全2クラス	65	「のばしてぺったん」紙粘土を平らにのばし丸型や星型にした上から、洗濯ばさみなどの身近な素材で型押しをレリーフにした。	〃
鷲塚小	9月6日 9月7日	1年全4クラス	111	「あさがおの花が咲いたよ」3枚の画用紙に白クレヨンで3種類の線を描いた上から赤・青・紫の絵の具で全体に塗った。	〃
	9月9日 9月13日	5年全4クラス	122	校舎の中のお気に入りの場所を遠近を意識しながら鉛筆で描画した。	〃
棚尾小	9月28日 9月29日	1年全3クラス	101	八つ切りの画用紙に身近な素材でスタンプの表現と指で描く表現を各2枚ずつ行った。	〃
	9月30日	6年全3クラス	117	障子紙に様々な道具を使い、墨の濃淡やにじみ・ぼかしを生かしながら墨の表現を楽しんだ。	〃
西端小	10月4日 10月5日	2年全3クラス	71	本物のかぼちゃを見ながら新聞を丸めたりねじったりしながらかぼちゃの形を作り、上から色和紙を貼って仕上げた。	授業　各クラス 3時間指導
	10月6日	5年全2クラス	72	ティッシュとトイレットペーパーを水で溶かして紙漉きをする際のアシスタントとして参加。	各クラス 2時間補助
中央小	10月12日	3年全3クラス	118	軽量紙粘土で自分がイメージした遊具を作るための造形指導。	授業　各クラス 2時間指導
日進小	10月18日	特別支援学級	7	針金と軽量粘土を使い宇宙をテーマに表現した。	授業　2時間指導
大浜小	10月25日	特別支援学級	17	障子紙に水性ペンで描いた上からスポイトで水を垂らし、にじませながらお花のイメージで模様を作った。	〃
中央小	11月29日	2年全3クラス	91	八つ切り画用紙に描かれた図案を濃い目の絵の具できっちりと塗るための指導。	授業　各クラス 2時間指導

学校	月日	学年	人数	内容	備考
大浜幼稚園	12月6日	年少親子	38	「ミニタイルツリー」軽量粘土の上にミニタイルをツリーの形に貼り、周りをシールやスパンコール等で飾り完成させた。	親子行事
	12月9日	年中親子	50	「クリスマスリース」ダンボールのリース型に紙テープやクリスマスモチーフの型等を貼りクリスマスリースを制作した。	〃
	12月12日	年長親子	46	「キラキラ絵」表面に黒いアクリル絵の具を塗った画面に絵を描いた後ひっかき、ペンで色をつけて完成させた。	〃
集計	延べ28日	延べ51学級	1633人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
大浜小	5月19日	特別支援学級	1	実施日相談
日進小	5月24日	1･3･6年	5	出前授業について、内容検討、実施日相談
	5月25日	6年	1	実施日決定
新川小	5月31日	2･4･6年	13	出前授業について、内容検討、実施日相談
棚尾小	6月2日	1･6年	3	出前授業について、実施日相談
西端小	6月3日	1･2･5年	5	〃
日進小	6月3日	6年	4	内容検討、実施日相談
鷲塚小	6月7日	1･5年	8	出前授業について、内容検討、実施日相談
日進小	6月8日	1･3･5年	7	作品見本提供、内容検討
新川小	6月10日	6年	5	〃
	6月14日	2･4年	9	〃
日進小	6月15日	6年	2	〃
中央小	6月21日	3年	4	出前授業について、内容検討、実施日相談
	6月25日	3年	1	材料（粘土）の提供
西端小	6月28日	1年	2	作品見本提供、内容検討
棚尾小	7月27日	6年	3	内容検討
	7月27日	1年	1	〃
鷲塚小	8月3日	1年	4	作品見本提供、内容検討
	8月12日	5年	4	内容検討
	8月20日	5年	3	作品見本制作
西端小	8月24日	5年	2	内容検討
中央小	8月30日	3年	3	〃
棚尾小	8月30日	1年	1	〃
西端小	9月7日	2年	3	〃
	9月8日	5年	2	〃
	9月8日	2年	1	〃
	9月15日	2年	2	作品見本提供、内容検討
日進小	9月21日	6年	1	内容検討
大浜小	9月28日	特別支援学級	1	〃
日進小	9月30日	特別支援学級	2	〃
	10月18日	6年	2	作品選別
中央小	11月4日	2年	3	内容検討
大浜幼	11月8日	園長、PTA	3	〃
棚尾小	2月17日	2年、教頭	2	来年度の依頼
	3月28日	2年	1	内容検討
	計35回			

新川小4年

棚尾小1年

2017（平成29）年度
出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備考
棚尾小	6月2日	5年全3クラス	112	堀川の塀に描く壁画のためのデザイン。扇面型に折り紙で○や△を配置し構成する。	授業　各学年 2時間指導
		6年全3クラス	89		
	6月6日	3年全3クラス	111		
		4年全3クラス	91		
新川小	6月13日	2年全4クラス	134	「不思議な動物」針金で芯を作り、絵の具で色をつけた軽量粘土を貼り付けて動物を作る。	授業　各クラス 2時間指導
	6月14日				
	6月27日	6年2クラス	70	「名前の道」自分の名前を道のようにつなげてデザインし、黒のアクリル絵の具で彩色後、余白部分をグラデーションで彩色するための技法紹介と指導。	〃
日進小	6月28日	5年全2クラス	51	粘土で筒状の形を作り、その周りに“想像の生き物”をテーマに装飾。後日釉薬をかけ、業者に焼いてもらい完成させる。	授業　各クラス 3時間指導
	6月30日				
新川小	6月29日	6年2クラス	71	「名前の道」自分の名前を道のようにつなげてデザインし、黒のアクリル絵の具で彩色後、余白部分をグラデーションで彩色するための技法紹介と指導。	授業　各クラス 2時間指導
大浜小	7月6日	特別支援学級	13	「不思議な動物」針金で芯を作り、絵の具で色をつけた軽量粘土を貼り付けて動物を作る。	授業　3時間指導
鷲塚小	9月13日	1年全3クラス	88	「不思議な花」の模様作り。画用紙にクレヨンで模様を描き、上から絵の具で彩色するための技法指導。	授業　各クラス 2時間指導
	9月14日				
日進小	9月20日	4年全2クラス	64	「おもしろ仮面」ダンボールの素材を活かしながら世界に一つだけの不思議な仮面を作るための技法紹介とその指導。	〃
新川小	9月21日	4年全4クラス	124	「自画像の木版画」版木に自分の顔の下図を線を太くして描くための指導。	〃
	9月22日				
大浜小	9月26日	2年全4クラス	111	絵の具の技法3種類の実施　白クレヨンに絵の具、絵の具をたらしてストローで吹く、あみとハブラシでしごく。	〃
	9月27日				
鷲塚小	9月28日	3年全3クラス	93	本物のひまわりとカラーコピーを見ながら画用紙にクレヨンで観察しながら描く。	〃
	9月29日				
西端小	10月3日	6年全2クラス	72	「墨のうた」墨の濃淡と道具を使い分けながら障子紙に表現をするための指導。	〃
日進小	10月4日	2年全2クラス	50	「想像の魚」魚型に切った色画用紙の上に絵の具を混ぜた軽量粘土を貼り、想像の魚を作るための造形指導。	〃
西端小	10月5日	5年全3クラス	82	「身近な素材でできこぼこ表現」各自持参した廃材をダンボールの台紙に貼り、上から液体粘土で覆う技法指導。	〃
	10月6日				
鷲塚小	10月11日	5年2クラス	67	「抽象表現」ストロー、にじみぼかし、かさかさ、ペインティングナイフの4技法の紹介・練習と各技法を織り交ぜた表現の技術指導。	〃
日進小	10月12日	特別支援学級	5	用意した布張りの板にアクリル絵の具にモデリングペーストをまぜたものをペインティングナイフで描いた。	授業　2時間指導
鷲塚小	10月13日	5年2クラス	65	「抽象表現」ストロー、にじみぼかし、かさかさ、ペインティングナイフの4技法の紹介・練習と各技法を織り交ぜた表現の技術指導。	授業　各クラス 2時間指導
中央小	10月24日	特別支援学級	12	「つまようじアート」図案を描いたスチレンボードに様々な色に染めたつまようじをさし、立体的な作品に仕上げた。	授業　2時間指導

学校	月日	学年	人数	内容	備考
大浜幼稚園	12月5日	年少	54	「ミニタイルツリー」軽量粘土の上にミニタイルをツリーの形に貼り、周りをシールやスパンコール等で飾り完成させた。	親子行事
	12月6日	年中	46	「クリスマスリース」ダンボールのリース型に紙テープやクリスマスモチーフの型等を貼りクリスマスリースを制作した。	〃
	12月7日	年長	52	「キラキラ絵」表面に黒いアクリル絵の具を塗った画面に絵を描いた後ひっかき、ペンで色をつけて完成させた。	〃
合計	延べ29日	延べ55学級	1727人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
棚尾小	4月12日	2年	2	内容検討
	4月20日	2年、教頭、土木課	4	〃
	4月30日	2年	1	〃
	5月2日	3～6年	12	〃
	5月31日	全学年	約25	試作品制作
新川小	6月1日	2年	4	内容検討
日進小	6月2日	5年	2	〃
新川小	6月2日	6年	1	〃
大浜小	6月6日	特別支援学級	1	〃
新川小	6月9日	6年	2	〃
日進小	6月16日	5年	1	〃
新川小	6月21日	6年	3	〃
棚尾小	6月23日	2年、教頭、土木課、業者	4	〃
	6月28日	2年	1	〃
	7月20日	2年、土木課、業者	3	スケジュール確認
	7月25日	2年	1	内容準備
日進小	7月28日	2年	2	内容検討
大浜小	8月2日	2年	3	〃
中央小	8月4日	特別支援学級	3	〃
日進小	8月4日	特別支援学級	2	〃
	8月9日	4年	2	〃
鷲塚小	8月9日	1年	1	〃
	8月18日	3年	3	〃
	8月18日	5年	2	〃
西端小	8月22日	5･6年	1	顔合わせ、実施日決定
新川小	8月24日	4年	5	内容検討
鷲塚小	9月1日	1年	3	試作品検討
大浜小	9月5日	2年	4	〃
鷲塚小	9月6日	3年	3	〃
日進小	9月7日	4年	2	〃
	9月7日	2年	2	〃
西端小	9月12日	5･6年	1	〃
鷲塚小	9月13日	5年	4	〃
新川小	9月20日	4年	3	内容検討
西端小	9月21日	5･6年	1	試作品検討
棚尾小	9月29日	2年、教頭、土木課、業者	4	スケジュール確認
中央小	10月5日	特別支援学級	3	材料の準備
鷲塚小	10月13日	2年	4	作品選定
西端小	10月27日	5年	2	制作相談、作品選定
鷲塚小	11月2日	1年	3	作品選定
大浜幼稚園	11月9日	園長、PTA	4	内容検討、材料確認
棚尾小	11月9日	2年、教頭、土木課	3	内容検討
大浜幼稚園	11月30日	園長、主任	2	材料渡し、材料確認、当日スケジュール確認
日進小	1月25日	特別支援学級	2	内容検討
	計44回			

新川小6年

棚尾小4年

2018（平成30）年度

出前講座実施記録

学校	月日	学年	人数	内容	備考
大浜小	6月13日	4年全3クラス	92	「表情を工夫して」表情のあるお面を作るための導入授業。ワークシートで福笑いのように表情づくりの学習をした後、作りたいお面の下図を描き、色鉛筆で色を塗った。	授業　各クラス1時間指導、次時限は担任が進行、美術館はサポート
新川小	6月14日 6月15日	6年全4クラス	145	「浮世絵に挑戦しよう」浮世絵のコピーを元に、パーツごとに墨で描き、四つ切画用紙に貼り合わせ作品にする工程のうち、墨の運筆の練習と顔、手、髪を描く。	授業　各クラス2時間指導
	6月19日 6月20日	2年全4クラス	136	「へんしんかめん」自分がなりたい姿を下図に描き、その下図を基にお面の型に油粘土で凹凸が出るよう造形し、上から障子紙、おはな紙を貼り完成させた。	授業　各クラス1時間指導、次時限は担任が進行、美術館はサポート
棚尾小	6月27日	4年全3クラス	111	「ソーラン節のはっぴづくり」ソーラン節のポーズをとった自分のコピーを逆さまにして描く練習をした後、運動会で使用したハッピにチョークで下描き、白絵の具で本描きした。	授業　各クラス1時間指導、次時限は担任が進行、美術館はサポート
日進小	6月28日	3年全2クラス	53	自分の顔を鏡で観察しながらパーツごとに描く練習をし、輪郭の中にパーツを並べて表情のある自分の顔にタイトルをつけた。	授業　各クラス2時間指導
西端小	7月3日	3年全2クラス	65	「ダンボールのお面づくり」ダンボールの特性を紹介、練習した後、自分が変身したいお面の制作をした。	〃
	7月10日	1年全2クラス	67	広げた新聞紙に自分のシルエットをクレヨンで写し、切り取る。	〃
鷲塚小	7月12日	3年全3クラス	116	色々な長さの画用紙のテープを貼り合わせて顔を作り、四つ切の画用紙の上に置き、おもしろいと思う表情を鉛筆で写した。さらにクレヨンでなぞり周りに関連した絵を付け加えた。	授業　各クラス1時間指導、次時限は担任が進行、美術館はサポート
	9月11日	1年全4クラス	117	「いろいろなともだち　いろいろなかお」画用紙に絵の具で大小様々な円を描き、クレヨンで友達や自分、まわりの様子などを描き込み、完成させた。	〃
日進小	9月18日	1年全2クラス	49	「ぼくのおさんぽ　わたしのおさんぽ」発砲スチロールのトレーで足型の版を作り画用紙に絵の具で押し、周りにクレヨンで絵を描いた。	授業　各クラス2時間指導
	9月20日	4年全2クラス	51	「ぼくの手　わたしの手」手の動きや骨の構造を確認し、道具を持つ手をコンテと色鉛筆で描いた。	〃
新川小	9月21日	4年全4クラス	147	「リコーダーを吹くぼく　わたし」木版画の版木に下図を写すために、写真のコピーをトレーシングペーパーに写した。	授業　各クラス1時間指導
西端小	9月26日	2年全2クラス	65	「ぼくたち西っ子　水辺の子」紙皿を切ったり、落ち葉や木の実を貼り付けたりなどして、お面を作った。	授業　各クラス2時間指導
中央小	9月27日	2年全3クラス	88	「うつして　みつけて」いろいろな虫や植物などの形を付箋と画用紙を使って型を作り、ローラーで表現した。	〃
大浜小	9月28日	1年全3クラス	85	「げんきなぼく　うれしいわたし」鏡で自分の顔を観察した後、顔の輪郭や各パーツをちぎって貼り、紙版画の版を作った。	〃
	10月2日	5年全3クラス	107	「ゆめみる　わたし」スチロール版に自分の横顔と背景の版、見当を作り、刷った。	〃
棚尾小	10月3日	3年全3クラス	100	「わたしをみつめるわたし（色を見つけよう）」鏡で自分の顔をよく見て鉛筆で描き、水彩絵の具で色々な色を点で重ねるようにして描いた。	〃
	10月4日	5年全3クラス	91	「何かに夢中になっている自分」画用紙に自分の姿を鉛筆で下書きした画面に水彩絵の具で薄塗りで仕上げた。	〃
中央小	10月5日	1年全3クラス	88	「わたしのきもち　わたしのかお」色画用紙に目、鼻、口、眉毛のかおのパーツを切って貼り、紙版画の版を作った。	〃
日進小	10月11日	特別支援学級	8	「枝とひものまきまき造形」各自で集めてきた枝にひもや毛糸を巻きつけて立体作品にした。	授業　2時間指導
鷲塚小	10月12日	5年全3クラス	112	「多色刷のスチロール版画」見当の意味とローラーで絵の具の練り方やつけ方を学び障子紙に刷った。	授業　各クラス2時間指導
大浜小	10月16日	特別支援学級	17	「おって　切って　ひろげて」色画用紙を折ってから好きな形に切り、広げ、連続してできる模様を楽しんだ。	授業　2時間指導
大浜幼稚園	12月5日	年中	68	「ミニタイルツリー」軽量粘土の上にミニタイルをツリーの形に貼り、周りをシールやスパンコール等で飾り完成させた。	親子行事
	12月6日	年少	48	「クリスマスリース」ダンボールのリース型に紙テープやクリスマスモチーフの型等を貼りクリスマスリースを制作した。	〃
	12月7日	年長	48	「キラキラ絵」表面に黒いアクリル絵の具を塗った画面に絵を描いた後ひっかき、ペンで色をつけて完成させた。	〃
集計	延べ27日	延べ63学級	2074人		

出前講座打合せ記録

学校	月日	学年	人数	内容
日進小	4月24日	校長	1	初回あいさつ
鷲塚小	4月24日	校長	1	〃
大浜小	4月24日	校長	1	〃
棚尾小	4月24日	校長	1	〃
中央小	4月24日	校長	1	〃
新川小	4月26日	校長	1	〃
西端小	4月26日	校長	1	〃
新川小	5月29日	6年	2	内容検討、実施日相談
	5月29日	2年	3	〃
大浜小	5月31日	5年	3	内容検討
日進小	6月1日	3年	1	内容検討、実施日相談
西端小	6月6日	1年	2	〃
	6月6日	3年	2	〃
新川小	6月7日	6年	2	内容詳細、見本渡し
棚尾小	6月8日	4年	2	内容検討、実施日相談
大浜小	6月12日	4年	2	内容詳細、見本渡し
新川小	6月14日	2年	3	〃
鷲塚小	6月15日	3年	3	内容検討、実施日相談
日進小	6月26日	3年	1	内容検討

学校	月日	学年	人数	内容
西端小	6月29日	3年	2	〃
鷲塚小	7月6日	3年	3	〃
	7月13日	1年	4	内容検討、実施日相談
日進小	7月18日	4年	2	〃
棚尾小	7月24日	3年	3	〃
日進小	7月24日	1年	2	〃
中央小	7月24日	1年	3	〃
新川小	7月24日	4年	5	〃
日進小	7月27日	特別支援学級	3	〃
中央小	7月27日	2年	3	〃
大浜小	7月27日	特別支援学級	3	〃
西端小	7月31日	4年	1	〃
大浜小	7月31日	1年	3	〃
西端小	8月3日	2年	2	〃
大浜小	8月7日	5年	1	〃
鷲塚小	8月9日	5年	3	〃
中央小	8月21日	特別支援学級	2	〃
鷲塚小	8月21日	1年	3	内容検討
日進小	8月24日	4年	2	〃
棚尾小	8月28日	5年	3	内容検討、実施日相談
西端小	8月30日	2年	2	内容検討
日進小	9月6日	1年	2	見本渡し、内容検討
棚尾小	9月11日	5年	1	内容検討
日進小	9月14日	4年	2	見本渡し、内容検討
大浜小	9月20日	1年	3	〃
中央小	9月20日	2年	3	〃
西端小	9月20日	2年	2	〃
棚尾小	10月2日	3年	3	見本渡し、内容検討
	10月2日	5年	1	内容検討
新川小	10月4日	4年	5	技術指導（彫刻刀の使い方）
日進小	10月5日	1年	2	〃
鷲塚小	10月10日	5年	3	内容検討
中央小	10月19日	2年	2	〃
大浜幼稚園	10月23日	園長、PTA	3	〃
新川小	10月25日	4年	5	技術指導（版画の刷り方）
大浜幼稚園	11月27日	園長、PTA	3	材料渡し、内容確認
	計55回			

新川小2年

鷲塚小3年

2. 実施システム

初めは1校の依頼で始まった出前講座であるが、碧南市の美術館として、棚尾小学校や大浜小学校だけでなく、市内7小学校から平等に引き受けたいという考えもあり、美術館では出前講座の内容だけでなく、受け入れるシステムも徐々に整えていった。出前講座の準備は、以下のような手順で進めた。

ア．書面で募集する

美術館出前講座の実施にあたり、年度初めの校長会で市内7小学校に対して以下のように書面で募集した。

1　内容　当館講師が学校へ出向き、創作活動の指導を行います。
2　事前準備　美術館において、当館講師と担当教諭とで、内容、材料、時間割などの打合せを数回行います。
3　参加単位　学級または、学年単位です。
4　経費　材料費は各学校でご負担ください。講師料は無料です。
5　募集数　応募校多数の場合は、調整させていただきます。
6　申込場所　碧南市藤井達吉現代美術館
7　申込期限　毎年、5月の連休明けを目処に締め切り（電話可）
8　実施時期について　例年9･10月は混み合います。1･3学期は比較的じっくり取り組めますので、ご検討ください。

上記のように募集をし、希望学校（学年）を決定させ、美術館で行う出前講座を学校の年間行事予定に組み込んでもらった。年間行事予定に組み込んでいただくことで、美術館で実施する出前講座が一部の学年・学級だけにとどまらず、学校全体の行事として受け入れられ、幅広く、かつ平等に市内の小学校に呼びかけができるようになった。市内の学校に平等に出向くことを考えると、各学校3学年まで（特別支援学級はこれに含まない）、各学級最大２時限の受け入れを限度とした。

イ．実施日の決定と打合せ

各学校からの募集を締め切った後、希望学年多数の場合は学年を絞ってもらい、その後各学年の先生方と相談して実施日を決定した。そして、その実施日に向けて、どのような内容で行うのか、最低2回の打合せを行った。打合せは、こちらが学校へ出向くことも、学校の先生方に美術館へ来てもらうこともあった。実施に向けて、必要な材料や児童が持参する道具や素材、図工室での準備などについて詳しく話し合いを進めた。また必要があれば、完成予想作品としての作品サンプルを作り提供した。

ウ．実施

出前講座当日は、筆者を含めた美術館の教育普及担当者２～３人が学校の授業開始時間に合わせ早めに学校へ出向き、下準備等をして授業に臨んだ。小学校の場合1時限が45分で、（大抵どの学校も２時限引き受け

ているのだが）かつ1クラス30名前後（多いクラスでは40名弱）と児童数も多く、児童全員に分かりやすく伝えることに、慣れるまで苦労した。筆者は実践していく中で時間配分や説明の仕方を工夫したり、実演などを取り入れたりした。ただし、あくまでも美術館が実施する出前講座であるので、学校のシステムや学校教員が行っている授業そのものを進める必要はないと筆者は考えた。よく児童からは「美術館からプロの先生が来た」と言われたが、その言葉通り、普段の担任の先生とは違う指導者による、特別な時間になってほしいと願った。説明の仕方や実演などはあくまでも手段であり、「美術館の人」が行う特別授業として、児童に刺激やきらめき、発見を与えることを重視したいと考えている。

エ．実施報告

出前講座の後は、実施校、実施学年、実施内容などの記録をまとめ、年度末に美術館の実績として報告した。また、それぞれの出前講座の実施手順や時間配分、注意点なども併せて記録し、今後に活かせるようにしてきた。

3．出前講座実施の現状とメリット、デメリット

ア．現状

美術館から学校に出向いて実施する出前講座というと、一般的には所蔵品に関する内容のプログラムが多いのではないだろうか。当館の場合は、館名にもなっている藤井達吉の作品やその他の所蔵品の紹介、これらの作品と関連する技法を使った作品作りなどが挙げられると思う。しかし、当館が今まで実施してきた出前講座の内容は、ほとんどの学校・学年で毎年11月に実施される市内造形展[3]に向けた作品作りの指導というものである。背景には学校・学級の希望をもとに講座の内容を決定していくという現状があった。碧南市の小学校には図工専科の先生がいない学校もあり、担任の先生が指導することになるが、造形展に見合うような完成度が高く、かつ見栄えのする作品作りについて、先生たちは毎年困っている様子であった。造形展へ向けた作品作りの一部を、美術館の出前講座で実施することは、本来美術館で行う出前講座と趣旨が違ってきてしまう。しかし開館から間もない当館が、地域や学校と連携していくためには、ひとまずどんな要望であれ引き受ける必要を感じた。そして毎年実施していく中で、徐々に美術館の方針も伝えていこうということになったのである。

出前講座で造形展へ向けた作品作りの一部を引き受けるにあたり、出前講座の時間内で作品を完成させることは難しいため（平均4～8時限ほどかかる）、先生方と打合せをする中で導入から仕上げのどの段階で出前講座に行くか、先生方が一番困っているところはどこなのかを相談した。また、出前講座で実施した授業の続きは先生方で進めていただくことになる。続きの相談や完成作品を見せてもらう依頼等は積極的に受け入れた。

以上のような講座を実施していく中で、筆者が感じたメリット・デメリットを以下に述べる。

イ．メリット

・学校の先生方とのつながり

出前講座に向けて市内小学校の様々な学年・学級の先生方と打合せをする中で、先生方との関係作りができる。また何年か続けていると、毎年出前講座を希望してくださる先生方も多くなり、さらに関係が深まる。美術館が決して近づき難い場所ではなく、気軽に利用できる施設であることを印象づけるためには、先生方との打合せの中での何気ない会話など、直接顔を合わせながら一緒に進めて行くことが非常に重要ではないかと考える。

・学校組織への理解

各学校の担任の先生方以外に、校長、教頭、教務の先生方に、出前講座の実施についてお願いする機会があり、学校組織に対する美術館側の理解がより深まった。初めの頃の筆者は、出前講座の募集段階でまず学校の誰と連絡をとればよいのかさえ分からなかった。これについては2011年に美術館勤務となった元学校教員に教わりながら実際に学校へ出向くことで、ようやく理解することができた。そのような意味で、元学校教員が美術館と学校のパイプ役を果たしていただけることは、両者の連携において非常に有意義だと考える。

・子どもの年齢（学年）による発達段階の理解

筆者を含めた美術館のスタッフは、美術に関する基本的な知識やそれぞれの専門的な知識を持ってはいるものの、小学校に通う児童の学年毎の発達段階の違いという点に関して、知識が足りない部分も多くあるように思う。どの学年にどのように声かけすれば理解しやすいのかなどは、実際に学校に出向き、出前講座を実践していく中で分かってきたことである。子どもたちの発達について理解することで児童にさらに寄り添ったアドバイスを行うことができ、限られた時間の中でより効果的な指導が行えるようになったと思う。

・児童の創作意欲の向上

出前講座に出向いた教育普及担当者は、美術教育が専門の学芸員、元学校教員、美術系大学出身者（筆者）といったメンバーであり、実技を伴う授業を実践するには十分な知識と技量を持っていた。授業の中で口頭だけでなく実演して見せることは児童にとって効果的であるし、児童に対する声かけによって、普段担任の先生1人だけでは見きれないところにまで目が行き届き、「楽しかった、おもしろかった」と言ってくれる児童も多いようだった。いつもとは違う人から専門的に教わることが、児童の創作意欲の向上にもつながったのではないだろうか。

・その他の教育普及活動への相互作用

出前講座に毎年行くことで、児童たちが筆者を含めた教育普及担当者の顔を覚え、気軽に声をかけてくれるようになった。例えば、当館は大浜小学校の通学路に面しているが、帰宅途中の児童が美術館内で仕事をしている筆者に向かって手を振ってくれたり（そんなささいな出来事が非常にうれしい）、また、当館が定期的に行っている子どもワークショップや、小学5年生、中学1年生に対して実施している美術館学習の際に、「この前学校に来てくれた美術館の先生」と声をかけてくれたりもした。普段あまり美術館に来たことがない（あるいは初めて来館する）児童・生徒にとって、以前学校に来てくれた先生が美術館にいる、というだけでも嬉しいと思うし、安心するだろう。地道に学校での出前講座を実践してきたことで、当館のその他の教育普

及活動にも良い影響が生まれてきたように思う。

ウ．デメリット

・応募多数の場合、全学年を受けきれない

ここ2、3年、出前講座の応募を市内の全小学校からいただく中、時間的な制約等から全ての希望学年に対応できず、学年を絞っているのが現状である。というのも各学年とも毎年11月初旬に行われる市内造形展へ向けた作品作りを希望するため、それ以前に作品を完成させることを考えると、出前講座の実施日がどうしても9、10月に集中してしまうからである。

実施希望内容が造形展への出品作品に限らなければ、年間を通してこちらも出向けるため、より多くの学年を引き受けることも可能である。また、造形展の作品作りを希望したとしても、2時限分の授業を美術館が全て引き受けるのではなく、1時限目の導入分のみや、相談のみ、ということであればより多くの学年を引き受けることが可能であろう。

・本来美術館が行うべき出前講座ができていない

上述の通り、現状は出前講座の依頼のほとんどが市内造形展へ出品するための作品作りの指導であり、本来美術館が行うべき内容の実践ができていない。筆者が出前講座の実施のため市内の様々な学校に出向く中で分かったのは、学校の先生方は非常に多忙ということである。小学校の教員の場合、基本的には全教科を担任の先生方が指導している。図工や音楽、体育といった専門的な教科についてもそうであることが多く、児童にどのような声かけをしてあげたらよいのか、戸惑っている先生方も多いようだ。さらに年間を通して、運動会、学芸会、遠足など様々な行事もある。先生方は日々の業務に追われているというのが現状であり、それに加えて美術館の（本来行うべき）出前講座を希望される先生方はなかなかいないようである。しかし、美術館での出前講座に限らず、普段の授業では味わえない発見や刺激を得ることができる様々な出前講座をもっと積極的に利用していただきたいと思う。

・学校の先生が受身になってしまう

出前講座の希望内容として造形展へ向けた作品作りがほとんどという現状の中、その作品作りを通して児童に何を伝え、学びとするのか、そして最終的にどんな作品に仕上げるのか、という基本的な考えやアイデアについては、各学年の担任の先生方に立案をお願いしている。そうしないと全て美術館が提案、提供するものとなってしまい、当日も美術館が主導で授業を進めざるを得ず、美術館が学校の授業を代行しているような状況となってしまう。常に学校現場にいるのは担任の先生方であり、児童のことについてもよく理解しているはずであるので、そういった点で先生方には出前授業を美術館が一方的に行うものとしてではなく、一緒に授業に参加するつもりで積極的に関わってほしい。児童の興味や関心、能力に応じているのかなどについては、美術館としてはむしろ教えていただきたい部分である。美術館と学校が対等な関係で意見交換できるのが望ましい。出前講座当日についても、美術館に全てお任せ、という感覚ではなく、児童がよりスムーズに授業に取り組めるような声かけや、今後の授業に役立てるなど、この出前講座を大いに活用して欲しい。

4．今後の出前講座へ向けて

当館で造形の出前講座を実施し始めてから9年目となる。初めは手探り状態でのスタートであったが、今では市内の全小学校や幼稚園からも依頼が来るようになり、美術館側にも出前講座は毎年必ず実施される業務として浸透してきた。担当者である筆者も、学校の先生たちとの内容相談から実施に至るまで、様々な体験をさせていただいた。この9年間の地道な活動の中で、これまで学校の先生方の要望に沿った出前講座を十分に実施してきたし、先生方との関係作りも十分にできたと思っている。ただ先に述べた通り、現状として出前講座の内容は市内造形展に出品するための作品作り、というのがほとんどであり、本来の美術館が行うべき出前講座がなされていないという状況がある。今後は藤井達吉をはじめとして当館の所蔵品を活用した鑑賞講座やそれらに結びつくような造形講座にシフトしていきたい。とはいえこれまでの出前講座で、学校の先生方がどんなことに困っているのかということも十分に知ることができた。これまで同様、先生方には気軽に美術館に声をかけていただけるような関係性を保っていきたい。今まで出前講座を実施していく中で、児童たちの嬉しそうな表情や真剣に作品作りに取り組む姿を見て、筆者は非常にやりがいを感じた。時には至らない部分もあったが、普段の担任の先生とは違う、新鮮な気持ちで児童が授業に取り組み、それが刺激となり、また次の創作意欲や美術への興味・関心へとつながってくれることを願っている。出前講座の良さはそこにあると思う。ゆえに今後は、これまで積み重ねてきた経験と学校とのつながりを活かしつつ、当館にしかできない出前講座を企画し、引き続き児童・生徒たちに発信していきたい。

（註）

1　当館では美術館学習と呼ぶ。毎年市内の小学5年生と中学1年生に対し、当館が実施している企画展の見学鑑賞を行う。展覧会の見学、美術館・博物館でのマナーについて学ぶ。

2　当館の出前講座としては本稿で述べる市内小学校に対する造形の出前講座のほか、2015年度より、市内幼稚園の園児とその親に対しても実施している。加えて当館の所蔵品や碧南市の野外彫刻の図版をカードにした鑑賞補助教材である「たっちカード」を使用した鑑賞の出前講座も実施している。「たっちカード」は40枚1組のアートカードで、当館では2014年度に文化庁が実施する「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」の採択を受け制作した。(この「たっちカード」を使用した鑑賞出前講座については、制作段階からも含めまた改めて報告したい。)

3　毎年碧南市内の幼稚園、小学校、中学校の作品を集めて開催される作品展。市内の文化会館で毎年11月に行われる。